



研究キーワード: 教育システム情報学, 教育工学, e-Learning

最近の研究課題

1. 作問に着目したe-Learningシステムの開発

問題を作成するためには、その分野に対してそれなりの知識が必要です。また、問題を作成することを通してその分野に対する知識が深まることも知られています。このような作問に着目したe-Learningシステム”S-Quiz”を開発しています。S-Quizでは学習者が自由に四択問題を作成でき、さらに他の学習者と問題を共有することができます。



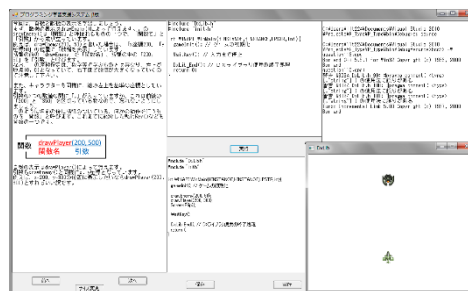
2. 自転車の運転を指導する教育システムの開発

香川県は自転車事故の発生率が全国トップレベルです。また、平成27年6月から自転車の運転違反の罰則も厳しくなりました。そこでスマートフォンのような携帯端末を使って自転車の運転をモニタリングして問題点を指導する教育システム”Pocket Police”を開発しています。リアルタイムの指導だけでなく、後でゆっくり自転車の運転について学べるモードもあります。



3. 連続性のある演習課題に基づくプログラミング学習支援システムの開発

コンピュータゲームを作っていたら、プログラミングができるようになった。そんな都合の良いプログラミング学習支援システム”PROGRESS”を開発しています。プログラミング学習の演習課題が全体で1つのアプリ開発となるように教材設計することにより、ちょっと変わったプログラミング学習を提供します。



高校生の皆さんへ

学校や学習塾でサテライト授業やe-Learning授業を受けたことがある人も多いと思います。これらはコンピュータを利用した教育の具体例ですが、単に教材などを電子化しただけでは効果的な教育や学習は期待できません。そこで、私達の研究室では人工知能やインタフェースなどの技術を応用して、コンピュータが適応的に学習支援するソフトウェアを設計・開発しています。

連絡先: hayashi <@> eng.kagawa-u.ac.jp [<@> は @ に変更してください]